

出張ワイワイトークの実施内容と意見について

1. 実施内容

- (1) 開催日 令和7年8月26日（火）
- (2) 開催場所 ひばりが丘児童センター、下保谷児童センター、中町児童館、西原北児童館
- (3) 参加人数 65人（子ども61人、保護者4人）※4館合計

<参加人数詳細>

小学1年生2人、小学2年生1人、小学3年生8人、小学4年生9人、小学5年生12人
中学1年生5人、中学2年生16人、高校生8人、未就学児の保護者4人

【ひばりが丘児童センター】26人	
小学1年生	1人
小学3年生	4人
小学5年生	2人
中学1年生	4人
中学2年生	11人
高校1年生	1人
未就学児の保護者	3人

【下保谷児童センター】17人	
小学3年生	2名
小学4年生	2名
小学5年生	2名
中学2年生	4名
高校生	7名

【中町児童館】14人	
小学2年生	1名
小学3年生	1名
小学4年生	2名
小学5年生	8名
中学1年生	1名
中学2年生	1名

【西原北児童館】8人	
小学1年生	1名
小学3年生	1名
小学4年生	5名
未就学児の保護者	1名

2.出張ワイワイトークの実施方法についての意見

	実施方法	時間指定	場所	メリット	デメリット
中町児童館	インタビュー (子どもが自由に出入りして意見を言う)	なし (13:30～ 14:30の間)	ロビー、 ロビー横 の部屋	・ほぼ全員、様々な子どもに意見を聞くことができた。 ・直接聞きこむことにより意見を引き出しやすくなった。 ・現場で実施することで、緊張感なくリアルな声を聞くことができた。 ・良いところや改善点が思い浮かびやすい。 ・友だちと一緒に参加できる。 ・児童館職員の話では事前に参加希望者はいないとのことであったが、当日声をかけると参加する子どもがたくさんいた。	・子どもたちが他の活動、遊びをしているので意見収集をするのに声をかけるタイミング、人が集まるまでの動きが難しかった ・市内の児童館や児童センターについて事前学習ができず、聞かれる側の準備がない状態だった。 ・一度の開催では広く子どもの声を聞くことができない。
下保谷児童センター	インタビュー (声をかけられた子どもが意見を言う)	なし (15:00～ 16:00の間)	ロビー	・多様な年齢層からの意見を聞くことができた。 ・中学生、高校生の利用も多く、幅広い年代の声が収集できた。 ・特化型の特徴である音楽室のグループ利用者(高校生バンド)へ直接声をかけることができる。 ・中高生の利用者の話を聞くことができる。 ・準備のない子どもの声が聞けた。	・様々な活動をしている子どもたちがいるので、声をかけていいのかどうか判断が難しかった。特に電子機器利用可の施設だったので、ゲーム中に聞き込みするタイミングが難しかった。 ・市内の児童館や児童センターについて事前学習ができない。 ・質問する側も事前知識のないまま質問していた。
児童館 西原北	グループワーク(ワークショップ) (指定場所にきた子どもが、グループで話し合いながら意見を言う)	あり(開始時間 の指定)	部屋	・同じ時間に開始することで、子どもたちにワークショップの意図をわかってもらえること、参加しているという意味を感じてもらえること。	・参加してもらう子どもの数が限られてしまうこと。参加している子どもの意見に左右されやすいこと。
児童センター ひばりが丘	① インタビュー (子どもが自由に出入りして意見を言う) ② 掲示板 (模造紙とメモを一週間ロビーに置き、自由に子どもたちが意見を書く)	①なし (15:00～ 16:00の間) ②あり (一週間)	部屋	・多くの子どもたちから意見を聞ける、ほぼ匿名になるので、子どもも意見を出しやすい。	・意見がやや無責任なものになりがち。

<全体的な感想・意見>

- ・ワイワイトークは小学校4年生以上としましたが、1～3年生でも十分に意見を伝えることができていたと思いますので、出張ワイワイトークは小学校1年生から意見を聞いても良いかと思いました。
- ・開始時間(一か所目は13時30分から)について、あと30分遅い開始時間のほうが昼ごはんを食べた後に来る子どもたちの意見を聴きやすかったかと思います。夏休み最終日というのも子どもたちが少なかった要因かと思います。
- ・土日など普段と違う利用者層が来る時にも実施していくことが望ましいと考えます。
- ・様々な児童館を実際に利用する子どもたちの声が聞けて、意見の数も多く集まってきて本当によかった。他の施設にもいろいろと試してみると多くの意見が集まってくるのでよいと感じる。
- ・出張することで、児童館や児童センターそれぞれの設備や利用ルールを知ることができてとても良かった。
- ・子どもの表情、児童館職員と子どもたちのやり取りや関係性もみることができた。「学校はつまらないから行きたくないけど児童館はやりたいこと(マンガ本を読む)ができるし、何もしなくてもいいから、ひとりで来ることが多い」と話してくれた小学生(5年生)が印象的でした。何もしなくても、友だちと関わらなくても、職員と話をしたり、本を読んだりすることができる居場所になっている子どもは多いように感じました。
- ・意見をくれた子ども全員にグッズ配布ができればよかった。
- ・運営する人たちの意見を聞く機会がなく、現場の状況を知ることなく子どもの意見だけ聞かれることのリスクがあった。
- ・乳幼児の保護者の話も聴いてみたいと思った。乳幼児は午前中利用が多いと思うので、保護者の意見を聞くために午前中に訪問する機会もあると良い。
- ・壁に張り出して書いてもらう方式がどの程度意見を集められたのか →1週間の掲示で、39件の意見がありました。